上山高原エコミュージアムの自然共生サイト認定

～30by30（サーティー・バ イ・サーティー）の推進～

- 世界目標であり、国も推進する「30by30目標」の達成に向けた取組の一つとして、環境省が「自然共生サイト」の認定を進めており、この度県内で新たに４つのサイトが認定されました。
- そのうちの１つである上山高原は、県内の生物多様性の保全・再生を先導する重要なフィールドとして地域住民から成るＮＰＯや新温泉町、県で構成する「上山高原エコミュージアム運営協議会」が、ブナ林やススキ草原の維持・復元、希少種の保全等、豊かな自然を地域全体で守り育て、学び、活かしていく「生きた博物館 上山高原エコミュージアム」を推進しており、本日はその取組を紹介します。

自然共生サイトとは

国では、「**30by30目標**」の達成に向け、民間や自治体等によって**生物多様性の保全が図られている区域**を「自然共生サイト」として認定し、生物多様性保全に資する区域の拡大を進めています。

※30by30目標とは・・・2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全する国際目標

（参考）県内の自然共生サイト認定状況：34サイト（全国700サイト）

※令和８年度第２回認定：①上山高原エコミュージアム②兵庫県立三木山森林公園
（**令和８年10月30日認定**） ③明石市・金ケ崎公園 ④Kawasaki 自然共生フィールド（神戸）

上山高原の概要

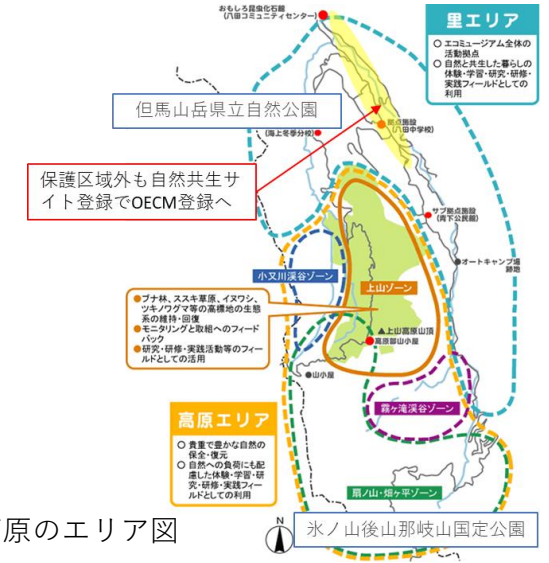
自然再生事業で復元されたブナ林や、ススキ草原のほか、霧ヶ滝やシワガラの滝をはじめとする瀑布群を有し、イヌワシなどの猛禽類をはじめ、希少な動植物が数多く生息・生育する自然豊かな地域です。

1 認定内容 申請者：上山高原エコミュージアム運営協議会

サイト名称 上山高原エコミュージアム

サイト住所 兵庫県新温泉町奥八田地区

サイト面積 2937.1ha（県内で最大のサイト面積）



上山高原のエリア図



シワガラの滝

2　取組内容

自然再生事業

広葉樹林化

昭和30年以降の植林で針葉樹林化した森林を、針葉樹林を伐採して、ブナやミズナラ等の広葉樹林の植苗を通じて、広葉樹林の復元を目指します。

事業実施前　0.2ha ➡ 現在　16ha　目標値　313ha

ススキ草原の復元

人々の草原の利用の変化により森林化が進み失われたススキ草原の復元を目指します。

事業実施前　ごく僅か ➡ 現在　44ha　目標値　45ha

希少種の保全

モニタリング 生息環境の保全

イヌワシやホクチアザミなど、上山高原の復元された環境で希少な動植物種の生息状況を調査し、必要に応じて、対策を講じています。（シカ柵の設置など）



ブナ林



ススキ草原



イヌワシ



ホクチアザミ

3　今後の展開

・上山高原における取組を県内の**環境保全活動のモデルとして広く発信・共有**
・更なる自然再生活動の発展につなげるため、環境保全に関心を有する**企業等の参画を促進**

＜問い合わせ先＞　環境部自然鳥獣共生課　TEL：078-362-3389　MAIL：shizenchoujuu@pref.hyogo.lg.jp